

目次

序章	
本機器について	6
使用目的	7
本取扱説明書について	7
アドバイス	
専門家へのアドバイス	10
警告記号および警告語の意味	11
安全上の重要な注意事項	12
開梱と設置	
パワーアンプの開梱	16
パワーアンプの設置	17
159の概観	19
パワーアンプの接続	24
従来の接続	29
バイアンプ	29
電源ケーブルの接続	31
パワーアンプの運転	33
コントロールパネルへのアクセス	35
スイッチのオンとオフ	36
自動的なスイッチオフの調整	37
ダンピングファクターの適合	38
トラブルシューティング	40
メンテナンス、修理、お手入れ	43
技術データ	45



序章



当社の製品をお選びいただき、 誠にありがとうございます。

音楽を愛好する皆さま、

当社の製品をお選びいただき、誠にありがとうございます。
絶対的な忠実さと妥協のない品質、そして技術革新と最大限の柔軟性を兼ね備えた機器をお選びいただきました。

本機を初めてお使いになる前に、この取扱説明書をよくお読みになり、この優れたオーディオ機器の性能を存分にお楽しみください。ご不明な点がございましたら、お近くの販売店または当社まで直接お問い合わせください。

珍しいと思われるような特別な要望でも、是非ご相談ください。技術的にセン
スのあるチャレンジを喜んで受け入れます。

ぜひ、楽しんでお聴きください。
Burmesterチーム

本機器について

Burmesterは、当社ならではのDNAに従って最高級のモノラルパワーアンプのシリーズモデルを紹介します。視覚的にはポートフォリオに基づいて評判の高いアンプを基本にして、159モノラルパワーアンプのデザインは、同時代のデザインイメージを取り入れて、このアンプが内部で実現している飛躍的な技術革新を外見からもさらに分かるようにしています。性能と制御については、7年間にわたる開発作業の後でこれまでにないサイズとユニットを実現しています。その際に、159は、Burmesterがパワーアンプの開発で披露する経験という大きな財産からも、また、アナログアンプテクノロジーの最新の知見からも成果を導き出しています。このパワーアンプは、形態と技術の点において、同時にまた「典型的なBurmester」として未来を指向しています。

ハイライト:

- スピーカーに適合するための可変ダンピングファクター
- 完全にシンメトリックな構成
- 音響の質を落とすコンデンサーのないDC連結された信号経路
- サイズの大きな給電網が高い電流供給能力を可能にしてくれます
- Burmesterのプリアンプを経由させたりリモートのオン/オフ
- アナログエラー検出並びにプロセッサ制御されたエラー診断

使用目的

この機器は、ホームミュージックシステム用に設計されています。

許容動作条件

Burmester機器の操作は、以下の条件のもとで行ってください。

最大の使用高度	2000 m
湿度	< 50%
温度範囲	20～30°C

本取扱説明書について

この取扱説明書は、159モノラルパワーアンプのユーザーによる操作について説明しています。また、専門家向けの情報も提供しています。

専門家のみに関係するセクションには、それに応じてマークが付けられています。

 この作業手順は、専門家に依頼してください!



159

アドバイス

専門家へのアドバイス

この取扱説明書に記載されている個々の手順は、訓練を受けた専門家のみが実施することができます。
この作業手順では、本説明書の該当ページが青く表示され以下のような注記が付いています。

 この作業手順は、専門家に依頼してください!

その後の使用や移動の際に手助けが必要な場合は、専門の販売店にご相談ください。

警告記号および警告語の意味

本書では、以下のような警告、記号、および警告語を使用しています。



一般的な危険記号は、**注意**、**警告**、**危険**の警告語と合わせて、重傷の危険性を警告しています。怪我や死亡を避けるために、以下のすべての指示に従ってください。



警告語 **危険**に関連する稲妻の記号は、生命を脅かす電圧を警告します。



警告語は、高い表面温度に対して警告します。この部分に触れると火傷を負う場合があります。



警告語は、押し潰しに対して警告します。

注意:

は、本機の損傷や破壊につながる危険性を示しています。



警戒:

は、怪我の危険性が低いまたは中程度であることを示しています。



警告:

は、死亡または重傷を負う可能性がある危険な状態を示しています。



危険:

は、死亡または重傷を負う間接的な可能性がある危険な状態を示しています。

次のアドバイスを守ってください:

- 記載されている指示、特に安全および警告に関する指示を読み、それに従ってください。
- この取扱説明書は保管してください。

安全上の重要な注意事項

パワーアンプの取扱説明書をよく読んでください。

この取扱説明書は安全な場所に保管してください。



警告: 梱包を開く際の窒息の危険

Burmesterの機器は、表面を保護するためにプラスチックの袋で梱包されており、お届けされています。

- 窒息の危険を防ぐために、これらの袋を子供の手の届かないところに保管してください。

注意: 子供の負傷の危険

この機器は、誤った使い方をすると、さまざまな怪我を負う危険性があります-子供に対する危険。この機器は、子供による使用を対象としていません。

- 目を離さずにお子様を一人で機器のそばに置いておくことは絶対に避けてください。

注意: 不適切な設置による危険

17ページにある機器の適切な設置に対する指示に従ってください。



警告: 重い重量

Burmesterの機器は、非常に重いので、転倒または落下させると重傷を負う場合があります。

- このため、Burmester 159は、適切な訓練を受けた専門家のみが梱包を開き設置することができます。

**注意：危険な電圧**

機器を電源から完全に切り離すには電源プラグを抜きます。

注意：運転開始時

- インストールの前にHiFi装置の全ての機器のスイッチをオフにしてください。全ての機器が完全であり正しく接続されていることを確認した後で機器のスイッチを再度オンにしてください。
- 機器が明らかに損傷しているか、液体が浸入している場合には、機器を運転しないでください。

**警戒：熱の発生**

運転中に159のハウジングのマークが付けられた箇所の温度が70 °Cに達することがあります。

- 機器に触れる際の警戒。

注意：雷雨の際の運転

機器側の電源スイッチをオフにするだけでは十分ではありません。

- 雷雨や稲妻の際には、電源ケーブルを機器や電源プラグから抜いて、機器を電圧供給から切り離してください。安全のために接続されているコンポーネントも全て電源供給から切り離してください。

**危険：機器を開く**

ハウジングの内部にある接続されたおよび引き抜かれた電源ケーブルに生命を脅かす電圧が通っています！

- ハウジングを開けないでください。

欠陥のあるヒューズの交換

ヒューズに欠陥があると、電源電圧が通っているにもかかわらずスイッチをオンにできない原因となる場合があります。これにはさまざまな原因が考えられます。

- 機器をお近くの販売店で検査してもらってください。ヒューズの交換ができるのは認定を受けた人員に限られます。



237

215

197

182

169

157

148

139

131

124

STATUS

POWER

開梱と設置

パワーアンプの開梱

 この作業手順は専門家に依頼してください!

ハウジングが傷つかないようにするために梱包を開く際には尖った物や鋭い物をご使用にならないでください。

納入品目に不備がないか、破損がないかをご確認ください。

納入品目:

159はペアとして供給されます。ペアの納入品目には以下のものがあります:

2	159パワーアンプの入るフライトケース
2	159用の保護ケース
1	159を持ち上げるリフト装置
1	リフト装置を利用するための設置説明書
2	電源ケーブル、長さ2 m
2	リモートケーブル 2 m
1	BurSyncケーブル、長さ7.45 m
1	取扱説明書
1	保証書セット
1	お手入れセット

納入品目に不備がないか、破損がないかをご確認ください。

→ 万一、納入品目の部品が不足していたり、開梱時に破損していることに気づいた場合は、
接続せずに正規専門店にご相談ください。

後で運搬するのにオリジナルの梱包と付属品を保管しておいてください。

パワーアンプの設置

 この作業手順は専門家に依頼してください!



警告: パワーアンプの重い重量

159は、非常に重いので、落下させると重傷を負う場合があります。

- パワーアンプの開梱および設置は、重量物の取り扱いの訓練を受けた専門家のみが行ってください。
- 159用の別途の設置説明書に必ず注意を払ってください!
- パワーアンプの重量が重いので設置前に静力学の専門家にご相談することを推奨します。

注意: 低すぎるまた高すぎる温度は、機器のエラーの原因となる場合があります

- 機器を接続しスイッチをオンにする前に、機器を室内にそのままの状態にしておいてください。
- 機器を輸送用の梱包から慎重に取り出して、適切な場所に設置してください。

注意: 不適切な設置

設置場所を決める際に次の点に注意を払ってください。

- 直射日光、過度の熱、寒さ、湿気、ほこりを避けてください。
- 十分な換気と排気に心がけてください。パワーアンプを閉じられた棚に設置しないでください。
- 機器のスロットや開口部を覆わないでください。これらの部分は換気と排気に使用されます。
- 機器を設置できるのは平坦で支持力のある平面の上に限られます。
- 機器は、下から換気を行う必要があります。換気は、調整フットの高さによって保証されます。機器を設置できるのはしっかりとした表面の上に限られます、パイル地カーペットの上では行わないでください。
- 159を運搬用フライトケースの下部で運転しないでください。

アドバイス

IRレシーバーは、リモートコントロールの信号を受信しているので、これの上を覆わないでください。



159 の概観



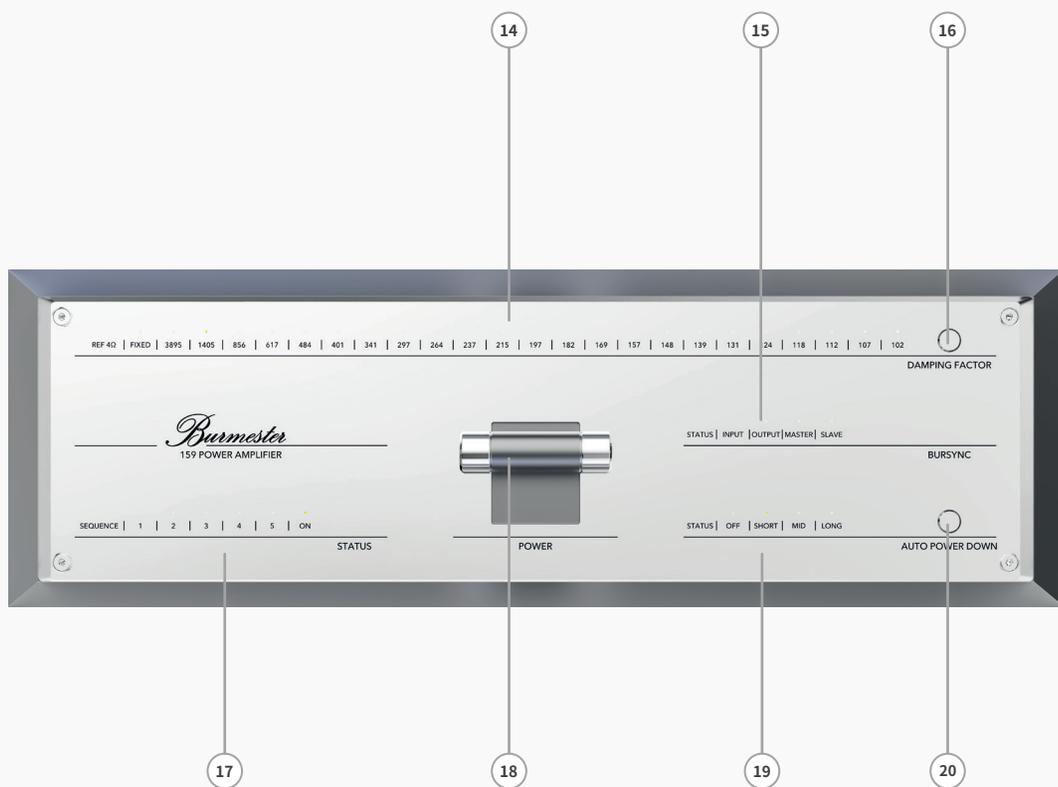
正面

1	LED (運転/スタンバイ) と赤外線受信器
● (LED が消えている)	パワーアンプのスイッチがオフになっています。
● (LED がオレンジ色に点灯する)	開始プロセスが始まっています。
☀ (LED が緑色に点滅する)	パワーアンプが開始プロセス中です。
● (LED が緑色に点灯する)	パワーアンプが運転中です。
☀ (LED が赤色に点滅する)	パワーアンプがスタンバイ運転に替わっています。
● (LED が赤色に点灯する)	パワーアンプがスタンバイ運転中です。
☀ (LED がオレンジ色に点滅する)	エラーが発生しました (41ページを参照)。
2	コントロールパネル (可動キャップの下)



裏側

3	対称的な出力
4	ダンピングファクターの調節
5	対称的な入力
6	リモートコントロール出力
7	BurSync-出力
8	スピーカー出力、プラス
9	電源ソケット
10	電源スイッチ
11	スピーカー出力、マイナス
12	BurSync-入力
13	リモートコントロール入力



コントロールパネル

14	ダンピングファクターの表示
15	BurSync-表示
16	ダンピングファクターの切替
17	ステータスの表示
18	オン/オフスイッチ
19	オートパワーオフ表示
20	オートパワーオフボタン



BURMESTERのリモートコントロール

(オプション)

21	機器のスイッチをオンにするかもしくはスタンバイに切り替えます。
22	ダンピングファクターの切替 FIXED / VARIABLE オートパワーオフ機能のさまざまなモードによる切替。 OFF スイッチがオフになります SHORT 30分 MID 60分 LONG 120分
23	

正面のLEDの色の選択

リモートコントロールで正面のLED (1)の色のパターンをご希望に合わせることができます。次の二つのバリエーションからお選びいただけます。

1. スタンバイ=赤色、オン=緑色
2. スタンバイ=オレンジ色、オン=赤色

色のパターンを変えるには、機器のスイッチをオンにしなくてはなりません。

切り替えるのにリモートコントロールで数字の組み合わせ「2 6 2 4」と「OK」を押してください。

パワーアンプの接続

 この作業手順は専門家に依頼してください!

接続部は、159の裏面にあります。接続する前に、信号源の取扱説明書もお読みください。

- インストールの前にHiFi装置の全ての機器のスイッチをオフにしてください。
- 全ての機器が完全であり正しく接続されていることを確認した後で機器のスイッチを再度オンにしてください。

信号源の接続

信号源の連結

1. 接続しなくてはならない全ての機器のスイッチをオフにします。
2. 信号源のご希望のチャンネルを入力 (5)と接続してください。
3. 場合によってはその他のパワーアンプ用に同じ手順を繰り返してください。



警戒: 強度の高いサウンド

大音量の出力信号は聴力を損なう恐れがあります。

- この入力には減衰器のある音源のみと接続してください。

その他のパワーアンプとの接続 (バイアンプ)

もう一つの159をバイアンプ運転用に接続します。

1. 接続しなくてはならない全ての機器のスイッチをオフにします。
2. 最初のパワーアンプの出力 (3) を二番目のパワーアンプの入力 (5) と接続します。

複数のパワーアンプの同期化 (BURSYNC)

BurSyncをご利用になると任意の数多くの159パワーアンプを相互に連結できるようになります。そうすると連結された機器が自動的に同期化され、情報を相互に交換します。

- 運転状態 (オン/オフ)
- オートパワーオフの状態
- ダンピングファクターへの情報

アドバイス:

パワーアンプを接続する順番は、音響にとってはそれほど重要ではありません。順番の中の最初のアンプが自動的にBurSyncの「マスター」となります。

パワーアンプの連結

1. 接続する全てのパワーアンプのスイッチがオフになっていることを確認してください。
2. BurSync-ケーブルを最初のパワーアンプのBurSync-出力 (7) および二番目のパワーアンプのBurSync-入力 (12) に接続してください。
3. 場合によってはその他のパワーアンプに同じ手順を繰り返してください。
 - 全てのご希望のパワーアンプが接続されると、次のスタート時に機器は同期化されます。

リモートコントロール入力の接続

パワーアンプのリモートコントロール出力 (5) をもう一つのBurmester機器のリモートコントロール入力と接続することで、この機器は、パワーアンプと並行してスイッチがオンもしくはオフにされます。

リモートコントロール入力 (13) のもう一つのBurmester機器との接続に応じて、この機器は、接続されている機器のスイッチのオンとオフに際してスイッチがオンもしくはオフにされます。

アドバイス:

複数の159を運転し、これらがBurSyncを通して接続されていれば、一方のパワーアンプをリモートコントロール入力 (13) を通して、パワーアンプと一緒に始動させるもう一方のBurmester機器に接続するのに十分です。全ての他のパワーアンプは、BurSync接続を通してオンもしくはオフにされます。

スピーカーの接続



警告: 接続端子にかかる危険な電圧

接続端子には運転中に危険な電圧がかかることがあります。

- 接続前にミュージックシステムの全てのコンポーネントのスイッチをオフにして、全ての接続を適切に確立した後でコンポーネントのスイッチをオンにしてください。
- パワーアンプは極端子カバーを付けずに決して運転しないでください。
- スピーカーとケーブル接続された後で通電部分に触れることができるようにしないでください。

スピーカーケーブル

Burmesterは、スピーカーをパワーアンプに接続するために、断面積の大きいケーブルを使用することを推奨しています。断面積が大きいため、パワーアンプのダンピングファクターを維持することができ、スピーカーを最適にコントロールすることが保証されます。最良の結果を得るためには、Burmesterスピーカーやアンプの内部配線と同じ電気的および音響的特性を持つBurmesterオリジナルのスピーカーケーブルを使用する必要があります。

注意:

- スピーカーケーブルの絶縁体は、オリジナルのBurmesterスピーカーケーブルに対応していなければならない、少なくともVW-1に適合している必要があります。疑問点がある場合にはお近くの販売店にご相談ください。
- 接続はケーブル端子を通して行われます。接続には接続準備ができていない配線が必要となります。

正しい極性

- スピーカー接続に際しては接続の正しい極性に注意を払ってください。全ての接続を等位で行うことが重要です。
- パワーアンプのプラスの出力 (+) = スピーカーのプラスの入力
- パワーアンプのマイナスの出力 (-) = スピーカーのマイナスの入力

アドバイス:

両方のチャンネルを逆位相で接続すると、バスの弱い散漫な再生の原因となります。

スピーカー出力のショート

スピーカー端子のプラスの極とマイナスの極の接続は、アンプのスイッチをオンにした時のショートの原因となります。このような場合、機器を損傷から保護するためにスピーカー出力のスイッチが自動的にオフになります。正面の LED (1) がオレンジ色に点滅します。コントロールパネルにあるステータスの表示 (17) で LED 1がオレンジ色に点灯します。

ショートの保護機能をリセットするには次のようにします。

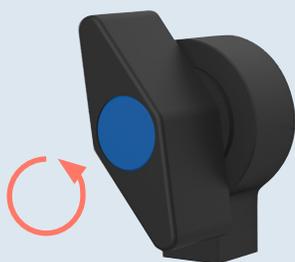
1. パワーアンプのスイッチをオフにします。
2. スピーカーへの接続を確認してください。
3. パワーアンプのスイッチを再びオンにします。
→ さらにエラーが続くようでしたら、お近くの販売店にお問い合わせください。

保護スイッチがパワーアンプの損傷を防ぐ場合であっても、ショートが起こらないように次のアドバイスに注意を払ってください。

- スピーカーケーブルを接続する前にパワーアンプのスイッチをオフにします。
- スピーカーケーブルをまずスピーカーに、次にパワーアンプに接続します。
- スピーカー端子のプラスの極とマイナスの極を互いに、または、例えば、パワーアンプのハウジングなどのその他の伝導性の部分に決して接続しないでください。

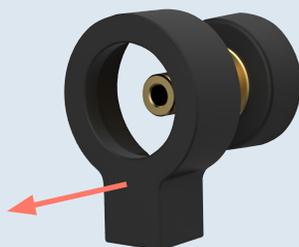
手順3

反時計回りに回
します



手順4

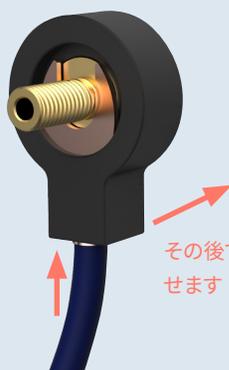
極端子カバーを外
します



手順5

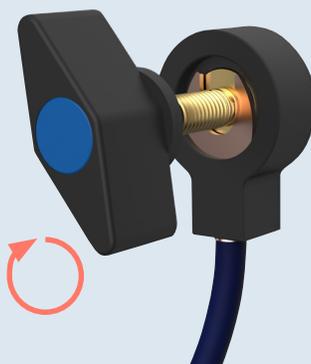
ケーブル端子を接続
に差し込みます

その後で極端子カバーを被
せます



手順6

時計回りに回
します



従来の接続

 この作業手順は専門家に依頼してください!

これは通常の接続方法です。ここでは、パワーアンプの各チャンネルとスピーカーを2極ケーブルで接続しています。そのため、ステレオ再生には、2台のモノラルパワーアンプが必要となります。

スピーカーを接続するには:

1. 場合によってはパワーアンプのスイッチをオフにします。
2. スピーカーケーブルの一方の側を、スピーカーのマイナス端子に取り付けます。
3. マイナス極端子 (ブルー) を反時計回りに回して完全に緩めます。
4. 極端子カバーを取り外します。
5. ケーブル端子を接続部の上に乗せて、極端子カバーをケーブル端子の上に被せます。
6. マイナス極端子 (ブルー) を時計回りに回してマイナスの接続 (-) に取付けます。
7. スピーカーケーブルを、スピーカーのプラス端子に取り付けます。
8. マイナス極端子 (赤色) を反時計回りに回して完全に緩めます。
9. 極端子のカバーを取り外します。
10. ケーブル端子を接続部に乗せて、極端子カバーを接続部の上に被せます。
11. プラス極端子 (赤色) を時計回りに回してプラスの接続 (+) に取付けます。

バイアンプ

バイアンプでは、ウーファー、ミッドレンジ、ツイーターがそれぞれのパワーアンプチャンネルで接続されています。このタイプの接続では、モノラルなら4台のパワーアンプが必要になります。

お近くの販売店でお使いのスピーカーがバイアンプの運転の種類に適しているのかお聞きになって、スピーカーの取扱説明書に注意を払ってください。



電源ケーブルの接続

→ 接続する前に、接続されているコンポーネントの取扱説明書もお読みください。



警告: 欠陥のあるまたは破損した保護導線接触

保護導線接触に欠陥があるかまたは不正確に接続すると生命の危険が生じます。

- 接続前にお使いのコンセントの保護導線接触が作動しているかどうかを確認してください。
- 疑問点がある場合には専門家にご相談ください。

電源ケーブルを接続するには:

1. 電源スイッチ (10) が 0 の位置にあることを確認します。
2. 電源ケーブルを電源ソケット (9) に接続します。
3. お使いの電源から供給される電圧が記載されている電圧に一致していることを確認してください。

アドバイス:

必要とされている電源電圧の記載は、電源ソケット (9) の下にあります。

4. 電源プラグをコンセントに差し込みます。
5. 電源スイッチ (10) を ON にします。



Symmetric

159

パワーアン プの運転



カバーを後方にスライドさせて、
調整を行ないます

コントロールパネルへのアクセス



警告:フラップによる押し潰し

フラップはこれを閉める際に手を負傷する原因となる場合があります。

→ 手などの四肢が閉める際に開口にないことを確認してください。

コントロールパネルは、可動カバーの下に隠れています。カバーを後方にスライドさせて、調整を行うか、機器のスイッチをオンかオフにします。

スイッチのオンとオフ

機器は、スイッチをオンかオフにするのに二つの操作制御を使用しています。

- 電源スイッチ (10) は、機器の裏側にあります。電源スイッチを作動させるとスタンバイ給電網が電源に接続されるか電源から切り離されます。
- オン/オフスイッチ (18) は、機器の上側のコントロールパネルにあります。オン/オフスイッチを作動させると、機器が準備完了モードと運転モードの間で切り替わります。



警告：強度の高いサウンド

大音量の出力信号は聴力を損なう恐れがあります。

- パワーアンプのスイッチを入れる前にお使いのプリアンプで音量を低い値に下げ、スイッチを入れてから音量を高くします。
- 聴力低下を防ぐために、大きな音量での長時間の試聴は避けてください。

スイッチをオフにした機器をスタンバイモードに切り替えるには：

- 機器の裏側にある電源スイッチ (10) を I の位置に切り替えます。
- 機器のスイッチをスタンバイモードに切り替えます。LED (1) が赤色に点灯します。

スタンバイモードから機器のスイッチをオンにするには：

- コントロールパネルにあるオン/オフスイッチ (18) を手前に引くか、または
リモートコントロールにあるPOWER (21) ボタンを押します。
- LED (1) が開始プロセスの間に緑色に点滅します。
- プロセスが終了すると LED (1) が一貫して緑色に点灯します。
- こうしてパワーアンプの準備が完了します。

機器を運転からスタンバイモードにするには：

- コントロールパネルにあるオン/オフスイッチ (18) を手前に引くか、または
リモートコントロールにあるPOWER (21) ボタンを押します。
- パワーアンプが準備完了モードに切り替わる間に LED (1) が赤色に点滅します。
- プロセスが終了すると LED (1) が一貫して赤色に点灯します。
- こうしてパワーアンプの準備が完了します。

電源スイッチ (10) は、I の位置にとどまることができます。このようにして機器のスイッチをオン/オフスイッチ (18) またはリモートコントロールを通して簡単にオンにすることができます。準備完了モードではスタンバイ給電網のみがアクティブであるために、わずかな電気しか消費しません。

機器を電源から切り離すには:

1. オン/オフスイッチ (18) で機器のスイッチをオフにします。
2. 電源スイッチ (10) を にします。

アドバイス:

電源スイッチを **0** にする前に常にまずオン/オフスイッチで機器のスイッチをオフにします。

自動的なスイッチオフの調整

機器には自動的なスイッチオフ(オートパワーオフ)が備わっています。これが作動すると、信号がなければ、機器は設定された時間が経過すると自動的にスタンバイモードに移行します。ご使用のパワーアンプがBurSyncを通して接続されている場合には、接続している全てのパワーアンプは、接続されている最初の159であるBurSync「マスター」の設定に従います。

自動的なスイッチオフの調整

オートパワーオフボタン (20) を押します。

→ 次の各値になるとその度に自動的なスイッチオフに切り替わります。

Off › Short › Mid › Long › Off ›...

OFF	自動的なスイッチオフが解除されています。
Short	機器は、30分間の無活動の後にスタンバイモードに切り替わります。
Mid	機器は、60分間の無活動の後にスタンバイモードに切り替わります。
Long	機器は、120分間の無活動の後にスタンバイモードに切り替わります。

DAMPING FACTOR



ダンピングファクターの適合

可変ダンピングファクターを使用すると159の音響をご希望の音響に適合させることができます。ダンピングファクターの変更は、特に159のバスの再生に影響を与えます。ダンピングが大きくなればそれだけお使いのスピーカーがアンプによって精確に制御されます。お使いのスピーカーに関連させた最適な設定を行うための時間を取ってください。コントロールパネル (16) またはリモートコントロール (22) で、お客様が選択した値と>4000固定された最大のダンピングファクターの間でいつでも切り替えることができます。

ダンピングファクターの表示

設定されている値は、コントロールパネルにあるダンピングファクターの表示 (14) で読み取ることができます。

- パワーアンプのダンピングファクターは、緑色のLEDで表示されます。
- 複数のパワーアンプがBurSyncを通して接続されており、その設定値を下回る場合には、これは一つのまたは複数のオレンジ色のLEDで表示されます。このようにして、各パワーアンプのコントロールパネルを一目見ると、全てのパワーアンプが同じ値に設定されているかどうかを確認できます。

可変ダンピングファクターを設定するには:

ダンピングファクターの表示 (14) は、FIXEDの値になっています。

→ ダンピングファクターの切替 (16)を押すか、

または

リモートコントロールにある RESUME (22) のボタンを押します。

- ダンピングファクターの表示 (14) が設定値に切り替わります。

固定ダンピングファクターを設定するには:

ダンピングファクターの表示 (14) は、FIXED以外の任意の値になっています。

→ ダンピングファクターの切替 (16)を押すか、

または

リモートコントロールにある RESUME (22) のボタンを押します。

- ダンピングファクターの表示 (14) が FIXEDに切り替わります。

ダンピングファクターの個々の値を適合させるには:

ダンピングファクター用の調整装置 (4) でご希望の値を設定します。

アドバイス

設定された値はスロットで読み取れます。

リモートコントロールの取り扱い

Burmesterのリモートコントロールは、これが到達できる159で自動的なスイッチオフの設定とダンピングファクターの設定とを切り替えることができます。その際に、BurSyncをご使用の場合は、機器の設定は同期化されます。

お使いの159をリモートコントロールで切り替える際にBurSyncを通して接続しない場合には、まず、自動的なスイッチオフとダンピングファクターのステータスを全ての159で同様に設定します。

トラブルシューティング

159は、エラーが発生した場合にこの159および接続しているスピーカーを保護するための幅広い保護スイッチが装備されています。

エラーが発生した場合には、159の前面にあるLED (1) を通してエラーについて知ることができます。エラーが発生した場合には、これがオレンジ色に点滅します。

このようなエラーの場合には、エラーについての詳細な情報をコントロールパネルで入手できます。

BURSYNC - エラー



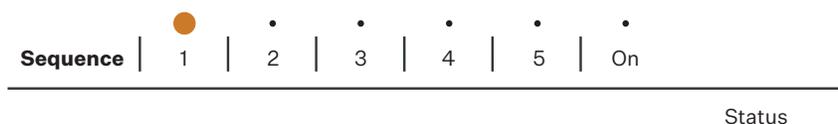
説明:

最後のパワーアンプのBurSync-出力が最初のパワーアンプのBurSync-入力に接続されています。これによってリング接続になります。

エラーを除去するには:

1. 全てのパワーアンプのスイッチをオフにします。
2. 最後のパワーアンプを最初のパワーアンプに接続しているBurSync-ケーブルを取り外します。

ショートエラーまたは短時間の過負荷



説明:

ケーブル接続の中でショートが発生しているかパワーアンプが短時間過負荷になりました。

エラーを除去するには:

1. パワーアンプのスイッチをオフにします。
2. パワーアンプとスピーカーとの間のケーブル接続をチェックします。
3. 場合によってはケーブル接続のエラーを修正します。
4. パワーアンプのスイッチを再度オンにします。

エラーがさらに続く場合には、お近くの販売店にご連絡ください。

温度-警告

	•	•	•	•	•	•
Sequence	1	2	3	4	5	On

Status

説明:

パワーアンプが危険な温度に達しています。

エラーを除去するには:

- 1.LEDが消えるまで音量を下げます。
- 2.温度が下がるようにします。

温度-エラー

または

	•	•	•	•	•	•
Sequence	1	2	3	4	5	On

Status

または

	•	•	•	•	•	•
Sequence	1	2	3	4	5	On

Status

説明:

温度が高すぎます。

エラーを除去するには:

1. パワーアンプのスイッチをオフにします。
2. 30分待ちます。
3. パワーアンプのスイッチを再度オンにします。
4. エラーがさらに続く場合には、お近くの販売店にご連絡ください。

サービスエラー

次のようなエラーを知らせた場合には、エラーを自分で除去しないでください。

エラーにはBurmesterサービスが必要です。

このような場合には、パワーアンプのスイッチをオフにして、電源ケーブルをコンセントから抜いて電源から切り離すようにお願いします。これ以降の手順についてはお近くの販売店にご連絡ください。

Sequence	1	2	3	4	5	On
	●	●	●	●	●	●

Status

または

Sequence	1	2	3	4	5	On
	●	●	●	●	●	●

Status

または

Sequence	1	2	3	4	5	On
	●	●	●	●	●	●

Status

または

Sequence	1	2	3	4	5	On
	●	●	●	●	●	●

Status

または

Sequence	1	2	3	4	5	On
	●	●	●	●	●	●

Status

または

Sequence	1	2	3	4	5	On
	●	●	●	●	●	●

Status

説明:

Burmesterサービスが必要となるエラーが発生しました。

メンテナンス、修理、お手入れ

注意:表面の損傷

液体や化学薬品によって、ハウジングの表面が損傷する恐れがあります。

- 同封のケアセットを使って、装置をクリーニングしてください。
- 機器に液体が入らないようにしてください。
- クリーニングには化学薬品を使用しないでください。

注意:リモートコントロール(オプション)

オプションのリモートコントロールにはボタン電池が含まれています。

- この電池の交換は、お近くの販売店を通して行われます。

保証

この装置には二年間の保証が付けられています。

購入後4週間以内に保証書に記入して送付すると、三年間の延長保証が得られます。

過負荷なく適切に接続されていることと機器に機械的な破損のないことが保証の前提となります。

改造が行われているか、ハウジング、接続または端子の一部が分解されている場合には、保証の請求権は消滅します。

廃棄処理



法律では、この機器とそのアクセサリを家庭ゴミ(灰色のゴミ箱、黄色のゴミ箱、有機ゴミ箱、紙やガラス)と一緒に廃棄してはならず、自治体の回収場所や自主回収システムに引き渡す必要があると規定しています。

技術データ

テクノロジー	モノパワーアンプ/ フルブリッジ、等級 A/B
幅	523 mm
高さ	415 mm
奥行	660 mm
重量	169 kg
出力性能	IEC 62368に準じて1,200 W (4 Ω)
インパルス性能	CEA に準じて2,500 W (4 Ω)
消費電力 MAX	2.5 kW
消費電力 OFF	0 W
消費電力 スタンバイ	< 0.5 W
直流	17 A
電圧範囲 (モデル 159-120)	100 ~ 120 V ~、50/60 Hz
電圧範囲 (モデル 159-240)	220 ~ 240 V ~、50/60 Hz
ダンピングファクター、可変 (4 Ωで100Hz)	102 ~ 3,895、23段階
ダンピングファクター、固定 (4 Ωで100 Hz)	> 4,000
1,200W 時 4 Ωでの1 kHzの信号雑音比	> 116 dB
入力感度	750 mV
電力帯域幅	410 kHz (-3 dB)
スルーレート	160 V/μs
1 kHz (50 W/ 4 Ω/22 kHz)時のTHD+N	0.0009 %
増幅	39.4 dB

技術的に変更される場合があります



バージョン: BA_159_JA_1-2_2307

BURMESTER HOME AUDIO GMBH

Wilhelm-Kabus-Straße 47

10829 Berlin

ドイツ

www.burmester.de